

略 歴 等

氏 名 白石 勝 己

所属・職位 公益財団法人アジア学生文化協会 理事長

■略 歴

1979 年 財団法人アジア学生文化協会入職
1980 年～1984 年 Technology Promotion Association (Thailand-Japan) 出向
1985 年～2013 年 財団法人アジア学生文化協会帰任
会館部 総務部 日本語コース事務長 留学生相談室長 歴任
2014 年～2017 年 財団法人アジア学生文化協会 理事・事務局長
2015 年～2019 年 早稲田大学国際学術院・日本語教育研究科 非常勤講師
2018 年～ 公益財団法人 アジア学生文化協会 理事長
留学生日本語コース校長

■役員等

公益財団法人 西原育英文化事業団 理事
一般社団法人 日タイ経済協力会 理事
一般社団法人 日本百賢アジア研究院 理事
一般社団法人 国際教育研究コンソーシアム 理事
留学生教育学会 理事

■委員等

アジア・リサーチフェロー・スカラーシップ選考委員(株式会社三菱総合研究所)2010 年～2019 年
文部科学省 住環境・就職支援等受入れ環境充実事業委員 2015 年～2018 年
文部科学省 留学生就職促進プロジェクト委員 2017 年～2021 年
文部科学省 日本留学海外拠点連携推進事業委員 2017 年～2021 年
日本万博基金 EXPO'70 スカラーシップ選考委員 2021 年

■主な調査、研究等 実績

No	プロジェクト件名	対象国	クライアント等	担当業務 参画形態	従事期間
1	Look East Policy (東方政策)教育支援サービス	マレーシア	マレーシア政府 (人事院)	留学生カウンセリング (三菱総合研究所)	2000 年～2007 年
2	キャンパス・グローバル化を支えるシステム・組織に関わる調査研究	日本	国際教育交流協議会 (JAFSA)	共同研究	2000 年
3	我が国とASEANの留学交流のあり方に関する研究	ASEAN 諸国	外務省	ASEAN 留学生ニーズ調査 (三菱総合研究所)	2003 年
4	マレーシア日本技術大学 (MJTU) 設立のための基礎調査	マレーシア	外務省	ニーズ調査、コンセプト・財政分析 (三菱総合研究所)	2003 年

5	ベトナム・インド海外高等教育調査	インド・ベトナム	日本学生支援機構	海外高等教育調査、留学ガイドブックの作成	2005年
6	韓国海外教育機関調査	韓国	日本学生支援機構	海外教育機関調査、留学ガイドブックの作成	2006年
7	留学交流の将来予測に関する調査研究	日本	文部科学省	留学生受入予測調査(共同研究)	2006年
8	年間を通した外国人留学生受入れの実態調査	日本	文部科学省	短期留学生受入れ調査(共同研究)	2007年
9	先進的留学生活用事例調査	日本	財団法人 企業活力研究所	留学生就職、就労状況調査	2007年
10	中国における日本と諸外国への留学生送出し要因の比較研究	日本・中国	明治大学研究助成	アンケート設計、集計、分析	2008年～2009年
11	外国人学生の日本留学へのニーズに関する調査研究	マレーシア・タイ・中国・日本	文部科学省	アンケート設計、集計、分析(共同研究)	2008年～2009年
12	留学生受入れWEBシステムに関する調査研究費	日本	某教育関連企業	留学生受入れシステム調査研究	2009年
13	全学的な国際化推進に関する調査	日本	日本学術振興会	調査表設計、集計、分析(三菱総合研究所)	2009年
14	大学院留学生受入れ調査	日本	独自調査	統括・全大学アンケート調査 Web データベース構築	2000年～現在
15	留学生奨学金調査	日本	独自調査	統括・留学生奨学金団体調査 Web データベース構築	2000年～現在
16	大学学部留学生受入れ調査	日本	独自調査	統括・全大学アンケート調査 Web データベース構築	2000年～現在
17	米国大学留学生獲得・選考・EMの先進事例研修	米国(NY)	国際教育研究コンソーシアム	留学生リクルーティング、アドミッションマネジメント等研修参加	2015年
18	留学生受入れ支援方策の検討に関する調査研究	日本・フィリピン・インドネシア・ミャンマー・ブラジル・ザンビア	文部科学省	代表・統括	2015年
19	香港・タイ最新国際教育交流事情研修	タイ・香港	国際教育研究コンソーシアム	コーディネーター	2017年
20	日本における外国資格評価の需要等に関する調査	日本	大学改革支援・学位授与機構(NIAD)	代表・統括	2018年
21	外国人材を戦略的に受け入れるための社会基盤創設プロジェクト	日本	国際教育研究コンソーシアム(トヨタ財団助成)	プロジェクトメンバー	2020年～